



多治見
高等学校



令和2年6月30日

ふるさと教育

【地域課題探究型学習推進事業】

第9回エコワングランプリ募集記事に 川の保全研究グループのインタビューが掲載されました！

第9回イオン エコワングランプリの募集記事（6月30日毎日新聞掲載）に、本校の川の保全研究グループのインタビュー記事が掲載されました（記事は次のページ）。

本インタビューは6月15日（月）に行われ、本校3年の山本ひなたさん、朝倉琢也君、大池浩太君、後藤優斗君、星崎航汰君がZOOM（オンライン会議システム）を使って参加しました。皆、ZOOMで話をするのは初めてで、かつ、休校明けすぐということもあってか、最初はとても緊張してほとんど声が出ない状況でした。記者さんがコロナ禍での休校中の過ごし方や、オンライン授業の感想など、答えやすい質問をたくさん用意してくれ、しばらく受け答えするうちに笑顔で話すことができるようになりました。

インタビューでは、エコワングランプリで内閣総理大臣賞を受賞してから、川を見るとそこにどんな魚がいるか気になるようになったり、どうすると生物にとってさらに棲みよくなるかを考えたりするようになったことなど、これまでの活動で身についた視点から受け答えできました。

多治見高校の川の保全研究グループの活動は現2年生に引き継ぎ、岐阜県や多治見市と協力しながら多治見市内の河川の生態系保全活動を続けていきます。どうぞ応援よろしくをお願いします。

担当：佐賀達矢・古田健也

企画・制作/毎日新聞社営業本部

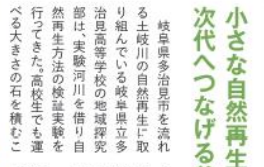
第9回 AEON eco-1グランプリ 募集開始!

次世代を担う高校生が日ごろ取り組んでいるエコ活動を表彰するとともに、優れた活動を周知することで、エコ活動の普及、推進を目指す「第9回イオン エコワングランプリ」(主催:公益財団法人イオンワンパーセントクラブ)の募集が始まる。新型コロナウイルスの影響で新しい生活様式が求められるなか、昨年度の内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞、環境大臣賞を受賞した4校はどのような取り組みをしているのか、テレビ会議システムを使い取材した。



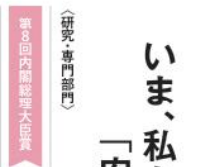
川の安全清掃会の様子

川辺多治見市を流れる土俵川は、自然再生に取り組んでいる。川沿いに緑豊かな風景が広がる。川辺多治見市は、自然再生に取り組んでいる。川沿いに緑豊かな風景が広がる。川辺多治見市は、自然再生に取り組んでいる。川沿いに緑豊かな風景が広がる。



岐阜県立多治見高等学校 地域探究部

岐阜県立多治見高等学校の生徒たちが、自然再生に取り組んでいる様子。川沿いに緑豊かな風景が広がる。岐阜県立多治見高等学校の生徒たちが、自然再生に取り組んでいる。川沿いに緑豊かな風景が広がる。



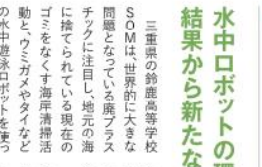
長野県白馬高等学校 輝ラボ

長野県白馬高等学校の生徒たちが、環境問題を伝える活動へ参加している様子。長野県白馬高等学校の生徒たちが、環境問題を伝える活動へ参加している。環境問題を伝える活動へ参加している。



香川県立多度津高等学校 海洋生産科食品科学コース

香川県立多度津高等学校の生徒たちが、海外からも注目するフードロス対策に取り組んでいる様子。香川県立多度津高等学校の生徒たちが、海外からも注目するフードロス対策に取り組んでいる。海外からも注目するフードロス対策に取り組んでいる。



長野県白馬高等学校 輝ラボ

長野県白馬高等学校の生徒たちが、グローバル気候マーチから環境問題を伝える活動へ参加している様子。長野県白馬高等学校の生徒たちが、グローバル気候マーチから環境問題を伝える活動へ参加している。グローバル気候マーチから環境問題を伝える活動へ参加している。



海外ジャーナリストの製造体験の様子

海外ジャーナリストの製造体験の様子。工場内で製品を製造している様子。海外ジャーナリストの製造体験の様子。工場内で製品を製造している。製造体験の様子。工場内で製品を製造している。



香川県立多度津高等学校 海洋生産科食品科学コース

香川県立多度津高等学校の生徒たちが、海外からも注目するフードロス対策に取り組んでいる様子。香川県立多度津高等学校の生徒たちが、海外からも注目するフードロス対策に取り組んでいる。海外からも注目するフードロス対策に取り組んでいる。



長野県白馬高等学校 輝ラボ

長野県白馬高等学校の生徒たちが、グローバル気候マーチから環境問題を伝える活動へ参加している様子。長野県白馬高等学校の生徒たちが、グローバル気候マーチから環境問題を伝える活動へ参加している。グローバル気候マーチから環境問題を伝える活動へ参加している。



香川県立多度津高等学校 海洋生産科食品科学コース

香川県立多度津高等学校の生徒たちが、海外からも注目するフードロス対策に取り組んでいる様子。香川県立多度津高等学校の生徒たちが、海外からも注目するフードロス対策に取り組んでいる。海外からも注目するフードロス対策に取り組んでいる。



長野県白馬高等学校 輝ラボ

長野県白馬高等学校の生徒たちが、グローバル気候マーチから環境問題を伝える活動へ参加している様子。長野県白馬高等学校の生徒たちが、グローバル気候マーチから環境問題を伝える活動へ参加している。グローバル気候マーチから環境問題を伝える活動へ参加している。

あなたの学校のエコ活動をぜひご応募ください

審査員からのメッセージ

国連環境計画・金融イニシアティブ 特別顧問
末吉 竹二郎氏

世界では今、気候の問題が「変動」ではなく「危機」として捉えられるようになってきました。これは、次世代を担う皆さんにとっても非常に深刻な問題になってきているということであり、ぜひ自分たち自身の問題として取り組んでいただきたいと思います。

キャスター、アナウンサー、京都産業大学 客員教授
吉川 美代子氏

皆さんの活動が、10年後、20年後、50年後の地球環境を守ることになるのです。地球の未来を明るくする皆さんの活動、期待しています。

国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター 生態リスク評価・対策研究室室長
五箇 公一氏

世界中に大きな被害をもたらしている新型コロナウイルスは生態系の破壊や野生動物の乱獲によって人間界に噴出したものと考えられています。自然を管理し、野生生物との共生を図ることは、これからの人間社会を健全に持続させるためにも重要な課題です。ぜひ自然共生社会のヒントとなるような研究を展開してください。

募集内容 高校生が取り組む環境保全活動全般。

募集締切 2020年12月5日(土) 予定

部門 普及・啓発部門
誰でもどこでも取り組むことができる普及性の高いエコ活動が対象です。

審査基準 校内外、地域に向けて発信できているか
• どれだけの人を巻き込んで活動ができていたか
• 他校にも応用できる取り組みであるか

研究・専門部門
地域固有の問題に着目した専門性の高い活動が対象です。

審査基準 解決に向けたアプローチに数値や根拠はあるか
• 検証方法が適切であるか
• 活動成果の普及・発信性が期待できるか

応募資格 日本国内の全日制・定時制高等学校で、授業およびクラブが承認しているクラブ活動(サークル・部活)の取り組みを対象とし、学校単位での応募とします。複数応募可。

応募方法 公式ホームページに設置した応募フォームに入力の上送信してください。

http://www.eco-1-gp.jp

お問い合わせ エコワングランプリ運営事務局(毎日新聞社内 毎日企画サービズ)
Tel. 03-6265-6813 ※平日10時~17時
公式ホームページからもお問い合わせいただけます。